

令和7年度 6月補正予算（案）の概要



令和7年6月
高知県総務部財政課

- 物価高騰や米国の関税措置等による本県経済への影響に対応するため、県内企業への支援を実施
- 教育費負担軽減に向け、いわゆる高等学校等の授業料無償化に対応

1. 経済の活性化

944百万円
(債務負担行為額 476百万円)

- ◆国による新たな特別保証制度に呼応し、**金融機関との協調等による新たな制度融資を創設**
- ◆中央地域の公共交通機関の維持・確保に向け、**沿線市町と協調した「とさでん交通」への支援を実施** など

2. 教育の充実

351百万円

- ◆高等学校等の授業料無償化に向けて、**授業料相当額の支援について、収入要件を撤廃**
- ◆家庭の負担軽減を図るため、**非課税世帯の奨学給付金単価を引き上げ** など

3. その他

561百万円
(債務負担行為額 31百万円)

- ◆国による災害時支援物資の**分散備蓄に対応するため、防災倉庫の設計等を実施**
- ◆旧南中高体育館を有効活用できるよう、**施設の再整備に向けた設計を実施**
- ◆患者減少等により経営状況の急変に直面している医療機関に対して、**病床数適正化に向けた支援を実施** など

6月補正予算（案）の全体像

歳入

(単位 千円、%)

区 分	令 和 7 年 度			前年度6月補正後 (D)	前年度6月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	補正額(B)	計 (A+B=C)		
(1) 一 般 財 源	327,381,916	174,102	327,556,018	321,741,388	1.8
県 税	70,918,454		70,918,454	67,793,441	4.6
地方消費税清算金	38,439,057		38,439,057	36,747,985	4.6
地方譲与税	16,896,994		16,896,994	15,030,285	12.4
地方交付税等 (うち臨時財政対策債)	181,259,000		181,259,000	181,922,000 (605,000)	△ 0.4 皆減
財調基金取崩ア	6,994,917	174,102	7,169,019	6,265,373	14.4
そ の 他	12,873,494		12,873,494	13,982,304	△ 7.9
(2) 特 定 財 源	146,746,087	1,681,818	148,427,905	143,908,276	3.1
国庫支出金	66,223,754	1,552,111	67,775,865	63,624,612	6.5
県 債 (うち行政改革推進債・ 退職手当債) イ	47,360,300 (3,000,000)	129,700	47,490,000 (3,000,000)	46,482,300 (3,000,000)	2.2
減債基金(ルール外分)等 ウ	3,392,890		3,392,890	4,555,521	△ 25.5
そ の 他	29,769,143	7	29,769,150	29,245,843	1.8
総計 (1)+(2)	474,128,003	1,855,920	475,983,923	465,649,664	2.2

財源不足額 (ア+イ+ウ:再掲)	13,387,807	174,102	13,561,909	13,820,894	△ 1.9
------------------	------------	---------	------------	------------	-------

(単位 千円、%)

歳出

区 分	令 和 7 年 度			前年度6月補正後 (D)	前年度6月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	補正額(B)	計 (A+B=C)		
(1) 経 常 的 経 費	381,735,131	1,822,040	383,557,171	373,486,061	2.7
人 件 費	110,532,704	1,510	110,534,214	112,594,368	△ 1.8
扶 助 費	12,206,825	170,936	12,377,761	12,250,357	1.0
公 債 費 (※)	69,270,901		69,270,901	68,574,140	1.0
そ の 他	189,724,701	1,649,594	191,374,295	180,067,196	6.3
(2) 投 資 的 経 費	92,392,872	33,880	92,426,752	92,163,603	0.3
(補助)普通建設事業費	54,659,375	△ 201,133	54,458,242	52,903,160	2.9
(単独)普通建設事業費	31,243,753	235,013	31,478,766	32,470,100	△ 3.1
災害復旧事業費	6,489,744		6,489,744	6,790,343	△ 4.4
総計 (1)+(2)	474,128,003	1,855,920	475,983,923	465,649,664	2.2

(※)公債費は、減債基金への積立てを考慮した金額としている

中小企業等への支援

拡 中小企業制度金融貸付金保証料補給金 **121,159千円**
[経営支援課]

国の「協調支援型特別保証制度」に呼応し、金融機関との協調等による新たな県制度融資を創設することで、物価高騰や米国の関税措置等の影響を受ける事業者の資金繰りを支援

- 対象者：以下のいずれかの要件を満たす県内事業者
 補給要件：①金融機関のプロパー融資を併せて受けること
 ②経営行動計画の策定・実行を行うこと
 保証料率：①0.12～0.48%
 ②0.29～1.20%
 貸付限度額：2億8,000万円
 融資枠：(R7)178億円、(R8・R9)240億円



Point

- 国の保証料補給に県がさらに上乗せ補給することで、事業者の保証料負担を軽減
 (事業者負担の軽減イメージ)

補給要件	保証料率 (補給前)	国・県による 保証料補給	保証料率※ (補給後)
①の場合	0.45～1.90%	→	0.12～0.48%
②の場合	0.45～1.90%		0.29～1.20%

※R7年度の保証料率（補給要件①の国補給率は、R8年度以降は縮小）

- 資金使途は、設備資金のほか**運転資金も利用可能**であり、事業者の**様々な資金需要に対応**

公共交通事業者への支援

新 公共交通活性化特別対策事業費補助金 **807,000千円**
[交通運輸政策課]

県民の移動手段の維持・確保に向けて、中央地域の公共交通の担い手であるとさでん交通の経営基盤の強化を図るため、債務償還を支援

補助先：とさでん交通株式会社
補助率：定額



Point

【とさでん交通の現状】

- 発足以来、返済を進めてきた借入金が、コロナ禍により再度増大
 (発足時(H26)：約38億円→R元：約25億円→R2：約38億円)
- 新たな借入が難しく、収益力向上に向けた前向きな投資が困難な状況

- 中央地域の公共交通を維持するため、前向きな投資ができるよう**債務返済に係る負担を軽減し、経営基盤を強化することが必要**

- 県と沿線市町が連携して支援を行い、コロナ禍で増大した**債務12億円**の解消を目指す (県：約8億円、沿線市町：約4億円)

支援の効果

- 1 収益部門の強化による経営の安定化**
 資金余力を活用して新たな投資を行い、さらなる収益拡大につなげるといった好循環を実現
- 2 経営基盤の強化による持続可能な公共交通の確保**
 経営基盤の強化を通じて、持続可能な公共交通ネットワークを構築

高等学校等にかかる教育費への支援

拡 ① 授業料に対する支援 **337,469千円**

[高等学校課、私学・大学支援課]

授業料相当額を支援する支援金制度において、収入要件を撤廃し、
家庭の教育費負担を軽減

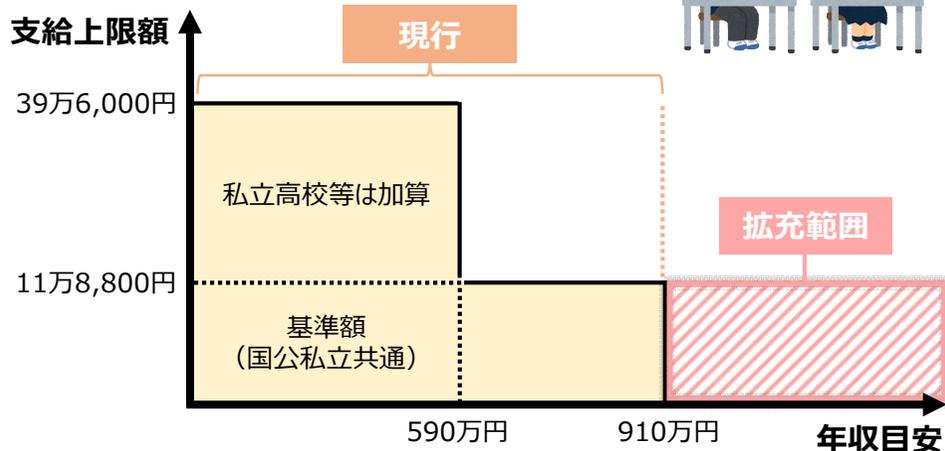
対 象：所得制限を受けている、年収約910万円以上世帯の高校生等

Point

- 国公立共通の基準額である11.88万円（授業料相当額）の支援について、**全高校生等を対象に拡充**
- 収入要件の撤廃により、**意欲のある高校生等が安心して勉学に打ち込める環境を整備**



(支援の拡充イメージ)



※国制度部分の拡充イメージ

拡 ② 授業料以外に対する支援 **13,140千円**

[高等学校課]

授業料以外の教育費を支援する給付金制度において、給付金単価を
引き上げることで、非課税世帯の教育費負担を軽減

対 象：保護者等の県民税及び市町村民税所得割額が非課税である世帯

Point

- 国公立高校等に通学する**生徒（第1子）の給付金単価を、第2子以降と同額に引き上げ**



(拡充内容)

区分		給付額（年額）	
		国公立	私立
非課税世帯	全日制等（第1子）	131,500円 ⇒ 143,700円	152,000円
	全日制等（第2子以降）	143,700円	152,000円
	通信制	50,500円	52,100円

地域医療提供体制の充実・確保

新 ① 病床数適正化支援事業費交付金 **410,400千円**

[医療政策課]

効率的な医療提供体制の確保を図るため、患者数の減少等を受けて病床数の適正化を進める医療機関を支援

補助先：病床数の削減を行う医療機関
補助額：削減した病床1床あたり4,104千円

新 ② 電子処方箋普及促進事業費補助金 **69,832千円**

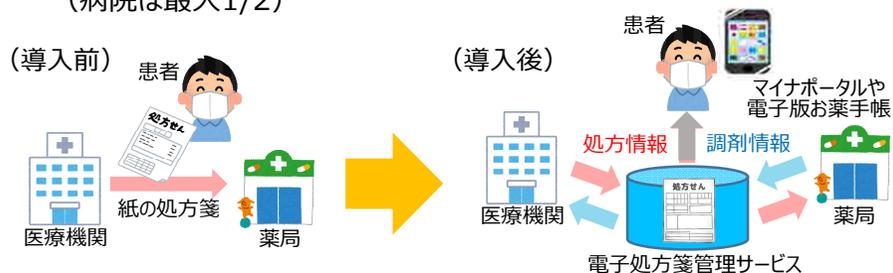
[薬務衛生課]

電子処方箋の普及を促進するため、県内医療機関等の電子処方箋の導入に係る経費を支援

補助先：R7.9.30までに電子処方箋を導入する県内医療機関等
補助率：病院1/6以内、診療所・薬局1/4以内

Point

- 国の補助制度（ICT基金）との併用により、最大3/4を支援（病院は最大1/2）



新 ③ 産科・小児科医療確保事業 **27,845千円**

[医療政策課]

地域で子どもを安心して生み育てることのできる周産期医療体制及び小児医療体制を確保するため、少子化等の影響を受ける施設を支援

(1) 分娩取扱施設支援事業費交付金

補助先：分娩取扱件数が過去3カ年平均より減少している分娩取扱施設
補助額：病院・診療所1施設あたり2,500千円

(2) 周産期医療施設設備等整備事業費補助金

補助先：妊婦健診等を担うことで、近隣の分娩施設の負担軽減を図る施設
補助率：妊婦健診等の実施に必要な施設整備費等の1/2以内

(3) 小児医療施設支援事業費交付金

補助先：患者数が過去3カ年平均より減少している小児医療の拠点となる施設
補助額：小児科部門の病床1床あたり250千円

Point

- 分娩件数が減少していく中でも、分娩取扱機能維持に取り組む医療機関を支援
- 少子化等による患者減少が、病院経営に影響を及ぼしている小児医療の拠点施設を支援



新 ①分散備蓄倉庫整備事業

15,388千円

[南海トラフ地震対策課]

国による災害時支援物資の分散備蓄を保管するため、防災倉庫の整備に向けた設計等を実施

整備内容：防災倉庫の新築整備
(県立青少年センター敷地内)
備蓄物資例：簡易トイレ、調理資機材、
段ボールベッド等
スケジュール：設計委託：R7
新築工事：R8
供用開始：R9～(予定)



②四万十市新食肉センター整備事業費負担金

【債務負担(R8～R10)475,749千円】 [畜産振興課]

四万十市の新食肉センターの整備に係る経費の一部を負担
(令和6年9月補正で計上した債務負担行為額への追加)

負担先：四万十市
負担割合：県50.6%、四万十市40%、その他7市町村9.4%
※四万十市新食肉センター整備検討会における合意に基づくもの
全体事業費：[追加前] 3,112,796千円
(R7～R10) [追加後] 3,588,545千円 (+475,749千円)

新 ③旧高知南中学校・高等学校体育館設計等委託料 17,843千円

[学校安全対策課]

県民体育館の再整備に伴い、県民の日常的なスポーツ活動の場を確保するため、旧高知南中学校・高等学校体育館の整備に向けた設計等を実施

整備内容：照明のLED化、消火設備の新設、受水槽の設置、非構造部材
(天井等)の耐震化等
スケジュール：設計等委託：R7
改修工事：R8
供用開始：R9～(予定)



新 ④県民体育館多目的グラウンド等管理運営委託料 5,683千円

【債務負担(R8～R11)29,692千円】 [スポーツ課]

高知南中学校・高等学校跡地を活用した県民体育館多目的グラウンド及び
テニスコートの管理・運営を実施(指定管理者制度による)

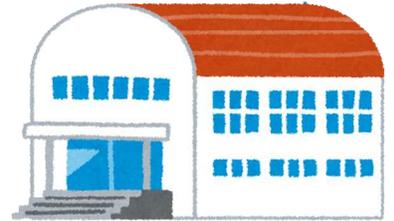
指定管理候補者：株式会社高知犬(公募)
指定期間：R7.8.1～R12.3.31



(高知南中学校・高等学校跡地)

ネーミングライツを導入することで、企業等に対して宣伝効果による知名度やブランドイメージなどの向上、社会貢献活動の機会を創出するとともに、公共施設の命名権を売買することにより収入を確保することで、施設管理等の県負担を軽減する。

対象施設 : ○春野総合運動公園陸上競技場 ○県民文化ホール ○のいち動物公園
契約期間 : 原則3年
最低希望金額 : 他県や高知市の例を参考にして設定
スケジュール : 年内に入札、年度内に導入予定 (※6月議会常任委員会へ報告後)



■募集方法

・資料配付、ホームページ掲載、県広報媒体へ掲載

■選定方法

・選定基準を定め、選定委員会により決定
(評価点の最も高い者を優先交渉権者と選定)

■費用負担

パートナー : 対象施設等の建物・敷地内看板等の新設、変更
敷地外道路標識等の変更、期間終了後原状回復
県 : 施設HP、パンフレットの表示変更、関係者への通知、
封筒等備品の変更 (指定管理者は通常業務内の範囲で対応)

ネーミングライツのメリット

●公共施設に企業名や商品名等を含む愛称を表示することで、施設の看板やイベントのポスター等により知らせる機会を創出できるとともに、様々なメディアによる宣伝効果が期待できる。

施設利用者数 (R5実績)

①春野総合運動公園陸上競技場	470,284人 (運動公園全体)
②県民文化ホール	260,092人
③のいち動物公園	206,500人

Jリーグ公式戦開催競技場 (年21回開催)、高知龍馬マラソンのゴール会場 等
オレンジ・グリーンホールの公演件数 333件 (R6実績)、入場者数19万8千人 (R6実績) 等
ニュース掲載件数 (年約49件 googleニュース検索結果)、R7GW県内観光施設利用者数県内1位
「旅好きが選ぶ!日本人に人気の動物園・水族館ランキング2020」で1位